

生ごみの分別収集・資源化に関する制度設計（案）正誤表

■23 ページ 【環境保全効果】

誤 温室効果ガスは、二酸化炭素換算量で2025年度（令和7年度）と2019年度（令和元年度）と比較して、年間約 5,789 t-CO₂ 減少すると試算されます。

正 温室効果ガスは、二酸化炭素換算量で2025年度（令和7年度）と2019年度（令和元年度）と比較して、年間約 6,257 t-CO₂ 減少すると試算されます。

■23 ページ 表15 環境保全効果

誤

	① 2019年度 (令和元年度)	② 2025年度 (令和7年度)
焼却に伴う二酸化炭素排出量	15,712	<u>10,556</u>
焼却残渣の資源化（溶融）に伴う二酸化炭素排出量	3,141	1,730
収集運搬に伴う二酸化炭素排出量	7	53
生ごみの資源化処理に伴う二酸化炭素排出量	—	732
合 計	18,860	<u>13,071</u>
① - ②		<u>5,789</u>

正

	① 2019年度 (令和元年度)	② 2025年度 (令和7年度)
焼却に伴う二酸化炭素排出量	15,712	<u>10,088</u>
焼却残渣の資源化（溶融）に伴う二酸化炭素排出量	3,141	1,730
収集運搬に伴う二酸化炭素排出量	7	53
生ごみの資源化処理に伴う二酸化炭素排出量	—	732
合 計	18,860	<u>12,603</u>
① - ②		<u>6,257</u>

■26 ページ 温室効果ガス試算条件 逗子市 焼却

誤

廃プラスチック量（t/年）	逗子市令和元年度ごみ組成実績（水分54.1%、プラスチック類21.9%）	1,657	<u>3,261</u>
---------------	--------------------------------------	-------	--------------

正

廃プラスチック量（t/年）	逗子市令和元年度ごみ組成実績（水分54.1%、プラスチック類21.9%）	1,657	<u>3,092</u>
---------------	--------------------------------------	-------	--------------